

## 茨南だより

3 S

+ 1

NO. 8

察知  
誠意  
スピード感  
改革意欲  
2025. 12. 2

## 人 権 週 間

県南教育事務所長  
佐藤 賢信

国際連合は、「世界人権宣言」の採択を記念して 12 月 10 日を「人権デー（Human Rights Day）」とし、世界中で人権擁護活動を推進するための行事が行われています。日本でも 12 月 4 日から 12 月 10 日までの一週間を「人権週間」として、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

今年度の人権啓発キャッチコピーは、引き続き「『誰か』のこと じゃない。」です。

社会には、様々な人権課題（個別の人権課題）が依然として存在していますが、これらは決して、自分以外の「誰かのこと」、「自分には関係のないこと」ではありません。

いじめや虐待、体罰、性犯罪・性暴力など、こどもが被害者となる事案も後を絶ちません。

日ごろ、何気なく交わっている言葉が相手の気持ちを傷つけたり、不快な気持ちにさせたりしていないでしょうか。人は、「言葉で傷つき、言葉で癒やされる」と言われています。人権週間を機会に改めて「言葉の大切さ」や「相手のとらえ方」を学校・家庭・職場で考えてみてください。

## 総 務 課

## 期末・勤勉手当について

12 月期の期末・勤勉手当が 12 月 10 日に支給されます。職員であった期間や休暇取得、勤務成績等により支給額が変わりますので、不明な点は事務職員に確認をお願いします。

## 人 事 課

## ★笑顔いっぱいの学校を目指して★

## 令和 7 年度優秀教職員の皆様をご紹介します

茨城県教育委員会では、「学校現場において幼児児童生徒のために、学習指導や生徒指導等の教育分野のうち特定の分野において創意にあふれ特色ある指導を実践し、顕著な教育効果をあげており、他の教職員の模範となる教職員」を優秀教職員とし、その功績を表彰しています。県南教育事務所管内からは優秀教職員（個人）として 2 名、若手教職員等奨励賞として 1 名の教職員の皆様が選出されましたので、ご紹介いたします。

## 〈優秀教職員（個人）〉

勤務校 職名 氏名	主な功績（具体的な実践）
石岡市立八郷中学校 栄養教諭 米田 佳美	〔学校給食の指導〕 ○児童生徒の発達段階や生活背景を踏まえた食育指導により、健康意識の向上を図るとともに生活習慣の改善に貢献している。
美浦村立美浦中学校 係長 板橋 智子	〔学校運営の改善、働き方改革に関する業務改善等〕 ○ICT 技術を効果的に活用し出張復命書等様々な様式の電算化を推進するとともに、その成果を公開することで県内多くの学校の業務改善にも貢献している。

## 〈若手教職員等奨励賞〉

勤務校 職名 氏名	主な功績（具体的な実践）
稲敷市立江戸崎小学校 本採講師 SHAW KANE DEREK (チャー ケイン デレク)	〔学習指導〕 ○スペシャリスト教員として児童生徒の英語力向上に努めるとともに、教職員の授業力向上への助言や、様々な県の事業への協力を通して、外国語教育の推進に広く貢献している。

県南教育事務所での表彰状伝達式は 12 月 9 日に行います。この度の受賞、誠におめでとうございます。地域のリーダーとしてさらなるご活躍を期待しています。

特別支援教育への理解を深めるとともに指導力の一層の向上を図ることを目的に、新規採用教員〔初任者〕研修講座特別支援学校における体験研修を実施しました。初任者の先生方は、土浦、石岡、美浦、伊奈、つくば、の各特別支援学校で行いました。

体験研修を通して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な学びの教育実践を目の当たりにし、「教育の原点」を感じたことと思います。そして、授業は、学力向上・生徒指導・特別支援の3つの視点が重要になることを再確認されたと思います。

これらの貴重な体験を通して、こどもの多様性を理解し、一人一人に寄り添った「指導力のある教師」として着実に成長してくれることを願います。



### ＜感想の一部抜粋＞

- ・小さな成果やちょっとした気づきに対しても、一つひとつ丁寧に褒め、賞賛シャワーを浴びせていた。
- ・「できていないこと」に目が行きがちだが、特別支援学校では「できていること」にたくさん目をむけていた。自身も明日からその視点を意識したい。
- ・授業中や休み時間も笑顔で過ごす。先生方も子どもたちが笑ったら一緒に笑う様子を見て、自身も明日から笑顔を意識して過ごしたい。

## 市町村教育委員会より



## 美浦村教育委員会

### 自分を育て、みんなで伸びる



美浦村では令和6年3月に第2期美浦村教育振興基本計画を策定し、「生きる力を育み、一人ひとりの個性を生かし可能性を切り拓く、明日の美浦を創る人づくり～人と地域のウェルビーイングの実現に向けて～」という将来像を掲げています。令和7年4月には、村内3つの小学校が統合され、美浦小学校が開校しました。今年度は、「自分を育て、みんなで伸びる」をテーマに、児童生徒が「わかった、できた、参加してよかった」と感じることができる「楽しい授業づくり」を目指しています。

### ＜学習環境を活かした学校づくり＞

美浦小学校には、各教室に教室と同じ広さのオープンスペースが併設されました。各学年では、広い空間を活用した多様な学習を展開しています。6年生は「美浦小カンパニー」の活動の1つとして、村商工会と連携し村産業文化フェスティバルに出品する商品を考える学習を行っています。広いオープンスペースと教室を同時に有効活用し、友達と調べ学習を行ったり、ゲストティーチャーに質問したりしていました。



美浦小総合的な学習の時間

美浦中学校では、「問い」と「対話」を重視した授業改善に取り組んでいます。特に、対話を充実させるためにホワイトボードを各授業で活用しています。保健体育科の話合いの場面では、大きなホワイトボードを活用することで複数の生徒が同時に自分の考えを記入し、周りの考えと比較しながら、活発な意見交換を行っています。



美浦中ホワイトボード

### ＜英語が話せるこどもの育成＞

美浦村では、外国語教育を推進しています。中学校外国語科担当による小学校の外国語活動・外国語の授業に加え、今年度よりALT7名（幼稚園・保育所1名、小中学校6名）を配置しました。

授業でもこれまで以上にこどもが英語を話す機会や聞く機会を増やしています。日々の積み上げで単語ベースでの会話ができるようになってきました。

また、夏季休業中には、教職員向けにALTを講師に初級・中級・上級のコース別の英会話教室を開催しました。希望制ではありましたが、多くの教職員が英語力の向上のために、自主的に参加していました。



教職員向け英会話教室